



NHK 詳細分析

2026-05-04_radio_news_0000

放送: 2026-05-04 | 分析日: 2026-05-13 13:57

Version 2.8-detail | Universal 2.8-detail | Konverter 3.4 (2026-05-20) | 基準: 放送法 第4条

総合スコア

3.3/10

軽微な不均衡

0 = 均衡、10 = 著しく偏向/操作的

政治スペクトラム

チャペルヒル専門家調査 (CHES) 2024に基づく分類

チャペルヒル専門家調査 (CHES 2024) は、31か国609人の政治学者による 学術調査です。各政党は0 (極左) から 10 (極右) のスケールで評価されます。

政党	JCP	CDP	DPP	Komeito	LDP	JIP
CHES	1.50	3.50	4.80	5.20	7.00	7.80
スペクトラム	左派	左派	中道	中道	右派	右派

全体的な傾向は0-10スケールで表示されます (0 = 強い左派優遇、5 = バランス、10 = 強い右派優遇)。計算は左派・右派政党の平均優遇度の差に基づきます (CHES 2024によるグループ分け)。

傾向 (左 - 右)

5.0 / 10

均衡

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

← 左

右 →

出典: Chapel Hill Expert Survey 2024 — chesdata.eu | [Jolly et al., Electoral Studies, 2022](https://doi.org/10.1017/XES.2022.1) | 関値: [Pew Research Center](https://www.pewresearch.org/)

このセクションは政治的文脈を提供し、総合スコアには含まれません。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



政治的景観

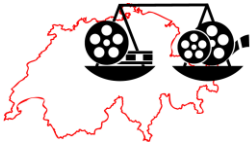
政権：自由民主党（LDP）＋公明党（Komeito）連立政権。2024年10月27日の衆院選でLDPは191議席（大幅減）、公明党は24議席となり、連立与党は衆議院過半数（233議席）を割り込んだ。現首相は高市早苗（自民党総裁）。

主要野党：立憲民主党（CDP、148議席）が最大野党。日本維新の会（38議席）、国民民主党（28議席）、日本共産党（8議席）、れいわ新選組（9議席）、社民党が続く。

政党	L-Rスコア	議席数（衆院）	政権/野党	核心的立場
日本共産党（JCP）	1.5	8	野党	憲法9条堅持、即時原発廃止、日米安保廃棄
社民党（SDP）	2.5	1	野党	憲法9条護持、反軍備拡張
れいわ新選組	2.5	9	野党	消費税廃止、反改憲、反軍拡
立憲民主党（CDP）	3.5	148	野党	9条改正反対、再生可能エネルギー、夫婦別姓
公明党（Komeito）	5.0	24	与党	平和主義、社会福祉、慎重な改憲
国民民主党（DPP）	5.5	28	中間	消費税減税、現実的安保、夫婦別姓
自由民主党（LDP）	7.0	191	与党	憲法改正（9条・緊急事態条項）、防衛費増額
日本維新の会（Ishin）	7.0	38	野党	改憲推進、規制緩和、大阪都構想

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

参政党	9.0	3	野党	超国家主義、反グローバリズム
-----	-----	---	----	----------------

日本の政治における最大の対立軸は憲法改正問題であり、特に第9条への自衛隊明記と緊急事態条項の創設をめぐって与野党が鋭く対立している。経済面では防衛費のGDP比2%への増額と社会保障財源の確保が争点となっている。エネルギー政策では原発再稼働の是非が分断を生み、外交・安全保障では対中・対米関係のバランスが問われている。2024年衆院選でLDPが過半数を失ったことで、国民民主党が「キャスティングボート」を握る構造が生まれ、政策形成の流動性が高まっている。

NHKは放送法に基づく公共放送であり、放送法第4条が政治的公平・報道の正確性・多角的論点提示を義務付けている。経営委員会の12名は内閣総理大臣が任命（国会同意）するため、安倍政権以降「政権寄り」との批判が学術・市民社会から継続的に提起されている。RSF報道自由度ランキングでは日本は2024年に70位（ノルウェー1位、ドイツ10位）にとどまり、記者クラブ制度による情報アクセスの構造的偏りも指摘されている。

- ・ タイトル： NHKニュース（深夜0時台）
- ・ 日付（ファイル名より）： 2025年5月4日（日曜深夜→月曜0時）
- ・ 推定尺： 約9分26秒（00:00:01～00:09:27）
- ・ 司会者/リポーター： アナウンサー（氏名不明、ナレーション形式）
- ・ 登場人物：

人物	役職	政党/所属	政治的スペクトル
高市早苗	内閣総理大臣・自民党総裁	LDP	右（7.0）
新藤義孝	元経済再生担当大臣	LDP	右（7.0）
馬場伸幸（安倍啓史と表記）	維新幹部	Ishin	右（7.0）
玉木雄一郎	国民民主党代表	DPP	中道（5.5）
吉田忠智	立憲民主党幹部	CDP	中道左派（3.5）
田村智子	日本共産党委員長	JCP	左（1.5）
山本太郎	れいわ新選組幹事長	Reiwa	左（2.5）
福島みずほ	社民党党首	SDP	左（2.5）
桃地明（日本大学名誉教授）	憲法学者	民間（改憲集会登壇）	右寄り
吉岡忍	ノンフィクション作家	市民（護憲集会登壇）	左寄り
70代男性参加者	一般市民（改憲集会）	無党派	右寄り
40代女性参加者	一般市民（護憲集会）	無党派	左寄り
井上尚弥	プロボクサー	スポーツ	非政治
大橋秀行	ボクシングジム会長	スポーツ	非政治
村田和樹	清泉寮スタッフ	観光業	非政治

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

2025年5月3日（憲法記念日）に東京都内で開催された改憲派・護憲派双方の集会の様を中心に、プロ野球結果・水上バイク事故・観光地の賑わい・ボクシング会見を伝える深夜ニュース。

日本国憲法は1947年5月3日に施行され、2025年で施行78周年を迎えた。憲法改正をめぐる議論は戦後一貫して続いており、特に第9条（戦争放棄・戦力不保持）と緊急事態条項の創設が最大の争点である。2024年衆院選でLDPが過半数を失ったことで改憲発議に必要な3分の2議席の確保が困難になり、改憲推進派は国民民主党・維新との連携を模索している。護憲派は「前のめりな改憲議論」と批判し、憲法54条の参議院緊急集会規定で対応可能と主張する。国際情勢（台湾有事リスク・ウクライナ戦争）を背景に安全保障議論が活発化しており、社会的関心は高い。

- * 憲法改正の具体的手続き（発議要件・国民投票）と現在の議席状況
- * 第9条改正が自衛隊の海外活動に与える法的・実務的影響
- * 緊急事態条項の国際比較（ドイツ基本法・フランス憲法との比較）
- * 護憲派が主張する憲法54条（参議院緊急集会）の実効性と限界
- * 改憲発議に必要な3分の2議席の現状と各党の立場の詳細
- * 憲法学者・法律専門家の多数意見（改憲の必要性に関する学術的コンセンサス）
- * 世論調査データ（改憲賛否の最新数値・年代別・項目別）
- * 過去の憲法審査会での議論の経緯と現状
- * 日米安全保障条約との関係および同盟国の立場
- * 改憲反対・賛成それぞれの市民運動の規模・歴史的背景

[A] 部分的に言及

タイムスタンプ：00:02:00～00:02:16 — 引用：「来年の発議を目指すのであれば、対象を現実的に絞り、条文化作業に早急に着手するのが不可欠だ」 — 評価：玉木代表の発言として発議スケジュールに触れるが、発議要件（3分の2）や現在の議席数の具体的説明はない。

[B] 部分的に言及

タイムスタンプ：00:04:09～00:04:25 — 引用：「ホルムズ海峡をめぐって、我が国としては、戦闘中は憲法の制約があり、艦船の派遣はできないとされている」 — 評価：改憲派の論拠として提示されるが、反論・法的検証なし。

[C] 未言及

タイムスタンプ：該当なし — 引用：なし — 評価：緊急事態条項の国際比較は完全に欠落しており、視聴者が国際標準を判断する材料が提供されていない。

[D] 言及あり

タイムスタンプ：00:02:43～00:02:51 — 引用：「そもそも緊急事態における国会議員の任期延了は、憲法54条で、参議院の緊急集会を求めることができるとなっているので、必要ない」 — 評価：立憲民主党の主張として紹介されるが、この主張の法的妥当性についての検証はない。

[E] 未言及

タイムスタンプ：該当なし — 引用：なし — 評価：発議に必要な3分の2議席の現状（与党が過半数割れ）という重要な政治的文脈が完全に欠落している。

[F] 未言及

タイムスタンプ：該当なし — 引用：なし — 評価：独立した憲法学者の見解が一切登場せず、桃地名誉教授は改憲集会の登壇者として紹介されており中立的専門家ではない。

[G] 未言及

タイムスタンプ：該当なし — 引用：なし — 評価：世論調査データが一切提示されず、国民の意見分布が不明のまま。

[H] 未言及

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



タイムスタンプ：該当なし — 引用：なし — 評価：衆議院憲法審査会での議論の経緯・現状についての説明がない。

[I] 未言及

タイムスタンプ：該当なし — 引用：なし — 評価：日米同盟・同盟国の立場という重要な安全保障文脈が欠落。

[J] 部分的に言及

タイムスタンプ：00:03:47～00:05:39 — 引用：「主催者の発表でおよそ5万人が参加しました」「主催者の発表でおよそ850人が参加しました」 — 評価：両集会の参加者数が報告されるが、主催者発表のみで独立した検証なし。

理由：憲法記念日の改憲・護憲集会という重要政治テーマを扱いながら、世論調査データ・独立した憲法学者の見解・発議要件の現状・国際比較・憲法審査会の経緯という核心的文脈が完全に欠落している。各党代表の発言は紹介されているが、それらの主張の法的・事実に基づく検証が一切行われておらず、視聴者が独自判断を形成するための情報基盤が著しく不足している。深夜ニュースという時間帯・尺の制約を考慮しても、10項目中4項目しか扱われていない点は問題がある。

- 独立した憲法学者（護憲・改憲双方）：各党の主張の法的妥当性を検証し、視聴者に客観的な法解釈を提供できた。
- 世論調査専門家（NHK文研・読売・朝日等）：改憲賛否の最新世論データを提示し、集会参加者が国民全体の意見を代表するかどうかの文脈を与えられた。
- 安全保障研究者（中立的立場）：第9条改正と自衛隊の実務的影響について客観的分析を提供できた。
- 衆議院憲法審査会の事務局または与野党筆頭幹事：審査会での議論の現状と課題を具体的に説明できた。
- 比較憲法学者：緊急事態条項の国際比較（ドイツ・フランス・韓国等）を提示できた。
- 選挙制度・議席数の専門家：発議に必要な3分の2議席の現状と各党の数字的現実を説明できた。
- 護憲・改憲双方の市民団体代表（より詳細なインタビュー）：一般市民コメントに留まらず、運動の論拠を深掘りできた。

ハードファクト — 定量的かつ科学的に検証可能な9つの手法

1. 専門家選定

5/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：誰が専門家として発言しているか？

専門家1：桃地明（日本大学名誉教授）

タイムスタンプ：00:04:06～00:04:25

発言：「ホルムズ海峡をめぐる、我が国としては、戦闘中は憲法の制約があり、艦船の派遣はできないとされている。諸外国並みの責任を果たしていくことを、取り組んでいくために、速やかに憲法9条改正に取り組んでいく必要がある」

位置付け：改憲集会の登壇者として紹介。日本大学名誉教授という肩書きが付与されているが、改憲集会での発言であり中立的専門家ではない。

欠落している反論：護憲派の憲法学者（例：長谷部恭男・早稲田大学教授、木村草太・東京都立大学教授）の見解が対置されていない。

情報源の深層チェック：

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

(a) 資金調達：日本大学（私立大学）所属の名誉教授。改憲集会（民間憲法臨調主催）の登壇者として招聘されており、主催団体との関係が不明。

(b) 委任：改憲集会の登壇者としての発言であり、中立的学術的見解としての委任はない。

(c) 信頼性マトリクス（情報源信号機、6次元、各-2～+2）：

- D1 利益相反：-1 — 改憲集会登壇者として改憲推進の立場を持つ可能性が高い
- D2 個人的リスク：+1 — 名誉教授として既に地位確立、発言による損失は限定的
- D3 専門能力：+1 — 法学・安全保障分野の専門家と推定されるが、ホルムズ海峡の軍事的判断は専門外の可能性
- D4 意見の一貫性：0 — 過去の発言との比較データなし
- D5 感情化対データ：0 — 具体的事例（ホルムズ海峡）を挙げているが、法的根拠の詳細なし
- D6 情報源レベル：0 — 二次的（集会での発言、一次資料なし）

・ 合計：+1 → 情報源信号機：黄（-4～+4）

(c) 専門能力：「日本大学名誉教授」という肩書きにより中立的専門家として受け取られる可能性があるが、改憲集会登壇者という文脈が明示されているため、完全な偽装ではない。ただし対置する護憲派専門家がいないため、構造的に改憲側に有利な専門家選定となっている。

専門家2：吉岡忍（ノンフィクション作家）

タイムスタンプ：00:05:01～00:05:16

発言：「社会を動かすための足場を与えてくれるのが、日本国憲法だ。飛び交う情報に左右されないための知識を、憲法を基盤にして作り上げていくことが、必要なのではないか」

位置付け：護憲集会の登壇者。「ノンフィクション作家」という肩書きは法学・憲法の専門家ではなく、専門的権威は限定的。

欠落している反論：改憲派の法学者の見解が対置されていない。

情報源の深層チェック：

(a) 資金調達：独立したノンフィクション作家。護憲集会への参加は個人的立場による。

(b) 委任：護憲集会登壇者としての発言であり、中立的専門家としての委任はない。

(c) 信頼性マトリクス：

- D1 利益相反：-1 — 護憲集会登壇者として護憲立場を持つ
- D2 個人的リスク：+1 — 著名作家として地位確立
- D3 専門能力：-1 — 憲法・法学の専門家ではなく、発言内容は文学的・哲学的
- D4 意見の一貫性：0 — 比較データなし
- D5 感情化対データ：-1 — 「足場」「知識」等の抽象的・感情的表現、具体的データなし
- D6 情報源レベル：0 — 二次的

・ 合計：-2 → 情報源信号機：黄（-4～+4）

(c) 専門能力：「ノンフィクション作家」という肩書きは法的・政治的専門性を示さず、護憲集会での発言を「専門家意見」として提示することは誤解を招く可能性がある。

欠落している専門家グループ：

- ・ 独立した憲法学者（護憲・改憲双方の学術的見解）
- ・ 安全保障研究者（中立的立場）
- ・ 世論調査専門家

まとめ（マトリクス結果）：

- ・ 桃地明（日本大学名誉教授）：黄（+1） — 改憲集会登壇者、構造的利益相反あり

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

- 吉岡忍（ノンフィクション作家）：黄（-2） — 護憲集会登壇者、法的専門性なし

両者とも独立した専門家ではなく、それぞれの集会の登壇者として紹介されている点では対称的だが、独立した学術的見解が完全に欠落している。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



2. 情報源選定

5/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

一次情報源のない主張 = ペナルティポイント (噂チェック)

定義：どの情報源が引用されているか？多様性と独立性はあるか？

情報源 1：民間憲法臨調（改憲集会主催）

タイムスタンプ：00:03:55～00:04:06

発言：「主催者の発表でおよそ850人が参加しました」

(a) 資金調達と運営主体：民間憲法臨調は改憲推進を目的とする民間団体。資金源の詳細は不明だが、改憲推進の立場を持つ。

(b) 構造的利益相反：改憲推進団体の主催者発表を検証なしに引用することは、その団体の主張を無批判に拡散する効果を持つ。

(c) 欠落している対立情報源：独立した参加者数の検証（警察発表等）が欠落。

欠落している対立情報源：警察発表の参加者数、または独立した調査機関による推計。

情報源 2：護憲集会主催者（市民団体）

タイムスタンプ：00:04:57～00:05:00

発言：「主催者の発表でおよそ5万人が参加しました」

(a) 資金調達と運営主体：「憲法を守る立場の市民団体」として紹介されるが、具体的な団体名・資金源は不明。

(b) 構造的利益相反：護憲推進団体の主催者発表を検証なしに引用。

(c) 欠落している対立情報源：独立した参加者数の検証が欠落。

まとめ：両集会の参加者数が主催者発表のみで引用されており、独立した検証がない。また独立した憲法学者・世論調査データ・政府の公式見解（内閣法制局等）という重要な情報源が完全に欠落している。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



3. 時間配分

4/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：異なる立場間の発言時間の配分。

推定発言時間：

- ・高市首相（LDP・改憲推進）：約40秒（00:00:34～00:01:12）
- ・新藤元大臣（LDP・改憲推進）：約15秒（00:01:24～00:01:38）
- ・馬場氏（Ishin・改憲推進）：約15秒（00:01:41～00:01:57）
- ・玉木代表（DPP・改憲推進寄り）：約15秒（00:02:00～00:02:16）
- ・吉田氏（CDP・護憲）：約20秒（00:02:36～00:02:55）
- ・田村委員長（JCP・護憲）：約20秒（00:02:59～00:03:16）
- ・山本幹事長（Reiwa・護憲）：約15秒（00:03:19～00:03:32）
- ・福島党首（SDP・護憲）：約15秒（00:03:34～00:03:47）
- ・桃地名誉教授（改憲集会）：約20秒（00:04:09～00:04:25）
- ・吉岡氏（護憲集会）：約15秒（00:05:01～00:05:16）
- ・改憲派市民（70代男性）：約10秒（00:04:40～00:04:52）
- ・護憲派市民（40代女性）：約15秒（00:05:28～00:05:39）
- ・ナレーション（NHK）：約3分（全体の約32%）

改憲推進側合計：約105秒（約1分45秒）

護憲側合計：約100秒（約1分40秒）

ナレーション：約180秒

まとめ：改憲推進側と護憲側の発言時間はほぼ均等（約105秒対100秒）であり、時間配分における明確な非対称性は認められない。ただし改憲推進側は首相・閣僚経験者・党代表という政治的重量の重い人物が多く、護憲側は野党幹部4名に分散しているため、一人当たりの発言時間は改憲側が長い。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



4. 省略 (選択的省略)

6/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：関連性があるにもかかわらず何が示されていないか？ (ステップ0を参照)

省略1：

文脈：発議に必要な3分の2議席の現状と2024年衆院選の結果

関連タイムスタンプ：00:00:14～00:01:12 (高市首相・各党幹部の発言全体)

影響：改憲発議には衆参両院で3分の2以上の賛成が必要だが、2024年衆院選でLDPが過半数を割り込んだ現状が一切説明されない。視聴者は改憲が現実的に進行中であるかのような印象を受けるが、実際には発議の数字的根拠が大きく欠けている。

省略2：

文脈：世論調査データ (改憲賛否の最新数値)

関連タイムスタンプ：00:03:47～00:05:39 (両集会の報告全体)

影響：改憲集会850人対護憲集会5万人という参加者数の差が報告されるが、これが国民全体の意見分布を反映するかどうかの文脈 (世論調査) が提示されない。参加者数の差が改憲反対の多数意見を示唆するかのような印象を与える可能性がある。

省略3：

文脈：緊急事態条項の国際比較および憲法54条の法的限界

関連タイムスタンプ：00:02:43～00:02:55 (吉田氏の憲法54条発言)

影響：立憲民主党の「憲法54条で対応可能」という主張が検証なしに放送される。憲法54条の参議院緊急集会が実際にどの程度の緊急事態に対応できるかという法的議論が欠落しており、護憲派の主張が無批判に提示される。

まとめ：発議要件の現状・世論データ・法的検証という三つの重要な文脈が欠落しており、視聴者の判断形成に必要な情報基盤が著しく不足している。特に発議要件の省略は、改憲論議の現実的困難さを隠蔽する効果を持つ。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



6. 連座制 (接触による汚染)

0/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：否定的グループ・思想との関連付けによる信用失墜。

所見 1 :

本番組において、特定の人物や立場を否定的グループと関連付けることによる信用失墜の手法は確認されない。改憲派・護憲派双方の発言が、それぞれの集会での演説として紹介されており、否定的レッテル貼りは見られない。

まとめ：連座制の手法は本番組では確認されない。スコア0。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



7. タイミング

3/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：情報の戦略的配置（冒頭・中間・末尾）。

所見 1：

位置：00:00:14～00:01:12（冒頭）

内容：「憲法改正を目指す集会が東京都内で開かれ、自民党総裁の高市総理大臣はビデオメッセージで...憲法改正に重ねて強い意欲を示しました」

タイミング効果：ニュースの冒頭に改憲推進側（首相）の発言を配置することで、改憲論議の枠組みを先に設定し、護憲側の発言（00:02:17～）をその後の「反応」として位置付ける構造になっている。

所見 2：

位置：00:03:47～00:05:39（中間）

内容：改憲集会（850人）の報告の後に護憲集会（5万人）の報告

タイミング効果：参加者数の少ない改憲集会を先に報告し、参加者数の多い護憲集会を後に配置することで、護憲集会の規模が際立つ構造になっている。これは護憲側に有利なタイミング配置とも解釈できる。

まとめ：冒頭に改憲推進側（首相）の発言を配置する点は改憲側に有利だが、護憲集会の大規模参加者数を後半に配置する点は護憲側に有利であり、タイミング操作の方向性は一貫していない。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



8. 選択的憤慨

1/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

憤慨 = バイアス。選択的憤慨は所見を強化する。スコア = 憤慨度 (0-5) + 選択性 (0-5)

定義：特定の立場に対する憤慨の非対称性。

方法論的原則 (v2.2)：評価の前に必ずトリガーイベントを記録すること。反応は、他の立場における同等のトリガーが同様の反応を生まなかった場合にのみ選択的と評価できる。

所見 1：

タイムスタンプ：00:00:01~00:09:27

トリガーイベント：本番組はナレーション形式であり、司会者・アナウンサーによる感情的反応・憤慨の表明は構造的に存在しない。

反応：該当なし

比較：全ての発言が中立的なナレーション調で読み上げられており、特定の立場への感情的反応は確認されない。

非対称性：確認不可能 — ナレーション形式のため評価対象外。

まとめ：ナレーション形式のため選択的憤慨は評価対象外。スコア1 (構造的に評価不能)。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

9. 網羅性									6/10	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	

カバーされた視点の割合

反転: 元の値は網羅性を測定 (高い = 良い)。偏差として表示 (高い = 大きなギャップ)。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



ソフトファクト — 6つの定性的手法

10. フレーミング (枠組み設定)

3/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：テーマはどのように基本的に枠組みされているか？

所見 1：

タイムスタンプ：00:03:47～00:03:55

引用：「昨日は、憲法改正を求める立場の人たちや、憲法を守る立場の人たちが、それぞれ集会を開きました」

操作：「改正を求める」対「守る」という二項対立の枠組みを設定。「守る」という語は現状維持を肯定的に含意し、「改正」は現状を壊す行為として暗示される。

なぜ問題か：「改正」は憲法が定める正当な手続きであり、「守る」と対置することで改憲派を規範違反者のように印象付ける可能性がある。中立的表現は「改憲派」対「護憲派」または「改正賛成」対「改正反対」が適切。

所見 2：

タイムスタンプ：00:02:17～00:02:19

引用：「憲法を守る立場の市民団体の呼びかけで開かれた集会に、野党4党の幹部らが出席し」

操作：護憲集会を「市民団体の呼びかけ」として紹介し、改憲集会（00:03:55～）を「民間憲法臨調などが開いた集会」として紹介。前者は草の根的・市民的イメージ、後者は組織的・政治的イメージを与える。

なぜ問題か：両集会とも組織的に運営されており、一方のみを「市民団体」として強調することは非対称な印象を生む。

所見 3：

タイムスタンプ：00:00:09～00:00:13

引用：「昨日は、日本国憲法の施行から7時、憲法記念日でした」

操作：冒頭で「憲法記念日」という文脈を設定し、その直後に改憲推進の高市首相発言を配置。憲法の「記念」という祝祭的文脈に改憲論を接続することで、改憲を記念日の自然な議題として正当化する流れを作る。

なぜ問題か：憲法記念日は護憲・改憲双方にとって重要な日であり、冒頭の文脈設定が改憲側の発言を先行させることで議題の優先順位を示唆している。

まとめ：「改正」対「守る」という非対称な二項対立フレームが全体を貫いており、改憲派を規範的に不利な立場に置く可能性がある。ただし深夜ニュースの尺制約を考慮すると、意図的操作と断定するには証拠が不十分であり、スコアは中程度にとどまる。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



11. 語彙と用語

3/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：どのような言語が使用されているか？どのような含意が設定されているか？

所見 1：

タイムスタンプ：00:02:17～00:02:19

引用：「憲法を守る立場の市民団体」

操作：「守る」という語は道徳的・防衛的含意を持ち、護憲派を正義の守護者として位置付ける。

なぜ問題か：中立的代替表現は「憲法改正に反対する立場の市民団体」。「守る」は価値判断を含む語であり、放送法第4条の政治的公平の観点から問題がある。

所見 2：

タイムスタンプ：00:02:36～00:02:39

引用：「前のめりな改憲議論が進められているが」（立憲民主党・吉田氏の発言として）

操作：「前のめり」という否定的含意を持つ語が、NHKのナレーションではなく政治家の発言として紹介されているが、NHKはこれを反論なしに放送している。

なぜ問題か：「前のめり」という評価的語彙を含む発言を検証なしに放送することは、その評価を暗黙的に承認する効果を持つ。

所見 3：

タイムスタンプ：00:03:19～00:03:24

引用：「今ある憲法を守れない者が、憲法を変えようとするなということに尽きる」（山本太郎氏）

操作：改憲推進派を「憲法を守れない者」と断定する強い否定的語彙が、NHKの検証なしに放送されている。

なぜ問題か：特定の政治的立場を「憲法違反者」と同一視する発言を無批判に放送することは、放送法第4条の政治的公平に抵触する可能性がある。

まとめ：「守る」対「改正」という語彙の非対称性が全体を通じて見られるが、政治家の発言引用という形式を取っているため直接的な語彙操作とは断定しにくい。スコアは低～中程度。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



12. 司会者の行動

1/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：質問・割り込み・共感表明における非対称性。

方法論的原則 (v2.2)：評価の前に必ずトリガーイベントを記録すること。介入は、他のゲストにおける同等のトリガーが同様の介入を生まなかった場合にのみ非対称と評価できる。

所見 1：

タイムスタンプ：00:00:01～00:09:27

トリガーイベント：本番組はナレーション形式の深夜ニュースであり、スタジオゲストへのインタビューや生放送での質疑応答は存在しない。

引用（司会者）：該当なし（ナレーション形式）

比較：全ての発言が録音・録画素材の引用として処理されており、司会者による直接的な介入・質問・割り込みは構造的に存在しない。

非対称性：確認不可能 — ナレーション形式のため、司会者の行動における非対称性を評価する対象が存在しない。

まとめ：本番組はナレーション形式の深夜ニュースであり、司会者によるインタビューや質疑応答が存在しないため、司会者行動の非対称性は評価対象外。スコアは1（構造的に評価不能）とする。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



13. 質問の非対称性

1/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：異なる人物への質問の硬軟の違い。

非対称性 1 :

本番組はナレーション形式であり、司会者による直接的な質問は存在しない。全ての発言は集会での演説・会見での発言の引用として処理されている。したがって、質問の硬軟を比較する対象が構造的に存在しない。

まとめ：ナレーション形式のため質問の非対称性は評価対象外。スコアは1（構造的に評価不能）とする。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



14. 偽りの均衡

3/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：実際の不均衡にもかかわらず人工的な均衡を作り出すこと。

所見 1：

タイムスタンプ：00:03:47～00:03:55

構成：「昨日は、憲法改正を求める立場の人たちや、憲法を守る立場の人たちが、それぞれ集会を開きました」

分析：改憲集会（850人）と護憲集会（5万人）を「それぞれ」という対等な表現で並置することで、両者が同等の社会的規模を持つかのような印象を与える。実際には参加者数に約59倍の差があり、この差を「それぞれ」という語で均等化することは偽りの均衡を生む可能性がある。ただし、参加者数の差は直後に報告されているため、完全な偽りの均衡とは言えない。

所見 2：

タイムスタンプ：00:00:14～00:03:47（全体構成）

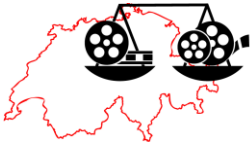
構成：改憲推進側（首相・閣僚経験者・党代表3名）と護憲側（野党幹部4名）を対等に並置。

分析：改憲推進側は現職首相を含む政権与党の発言であり、護憲側は野党の発言である。政治的重量の異なる発言を対等に並置することで、政権の政策方針と野党の反対意見が同等の政治的地位を持つかのような印象を与える。これは偽りの均衡の一形態だが、民主主義的報道の観点からは野党の発言を同等に扱うことは適切でもある。

まとめ：参加者数の大きな差を「それぞれ」という対等表現で並置する点に偽りの均衡の要素があるが、直後に参加者数の差が報告されているため、完全な偽りの均衡とは断定できない。スコアは低～中程度。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



15. アジェンダ設定

5/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：何が当然・自明とされているか？何がアジェンダに上がらないか？

所見 1：

設定されたアジェンダ要素：「憲法改正は現在進行中の政治的議題であり、各党が積極的に議論している」

タイムスタンプ：00:00:14～00:01:12

根拠：「憲法改正に重ねて強い意欲を示しました」「衆議院憲法審査会で最も議論が進んでおり」「来年の発議を目指すのであれば」

代替アジェンダ：改憲発議に必要な3分の2議席が現在確保されていないという現実、および2024年衆院選後の政治的困難さ。

所見 2：

設定されたアジェンダ要素：「緊急事態条項の創設は主要な改憲項目である」

タイムスタンプ：00:01:49～00:02:16

根拠：維新・国民民主・立憲民主の各発言が緊急事態条項を中心に展開されており、これが改憲議論の主軸として自明視されている。

代替アジェンダ：第9条改正（自衛隊明記）の方が改憲推進派にとって本来の核心的議題であるが、緊急事態条項が「合意形成しやすい項目」として前面に出されている政治的背景の説明が欠落。

所見 3：

設定されたアジェンダ要素：「憲法記念日は改憲・護憲の対立を確認する日である」

タイムスタンプ：00:00:09～00:05:39（憲法関連報道全体）

根拠：憲法記念日の報道が改憲・護憲の集会報告に集中しており、憲法の内容・意義・歴史についての教育的説明が完全に欠落。

代替アジェンダ：憲法の具体的条文・施行の歴史的背景・現行憲法が果たしてきた役割についての説明。

まとめ：改憲議論が現実的に進行中であるという前提がアジェンダとして設定されており、発議要件の現状という重要な反証情報が欠落している。また憲法記念日の報道が政治的対立の確認に終始し、憲法の内容・意義についての説明が完全に欠落している点は、放送法第4条の「多角的な論点の提示」の観点から問題がある。

ステップ 2 — 総合評価

個別スコア一覧

番号	基準	スコア	主要所見（1文）
1	フレーミング	3	「改正」対「守る」という非対称な二項対立フレームが全体を貫いている

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



2	語彙と用語	3	「守る」という道徳的含意を持つ語が護憲派に対して使用されている
3	専門家選定	5	独立した憲法学者が不在で、両集会の登壇者のみが「専門家」として登場
4	省略	6	発議要件の現状・世論データ・法的検証という核心的文脈が欠落
5	司会者の行動	1	ナレーション形式のため評価対象外
6	時間配分	4	改憲推進側と護憲側の発言時間はほぼ均等だが一人あたりは改憲側が長い
7	質問の非対称性	1	ナレーション形式のため評価対象外
8	連座制	0	連座制の手法は確認されない
9	数字の操作	4	参加者数が主催者発表のみで引用され独立した検証がない
10	タイミング	3	冒頭に首相発言を配置するが、護憲集会の大規模参加者数を後半に配置
11	映像選択	2	護憲集会のデモ行進描写が改憲集会より詳細
12	情報源選定	5	独立した憲法学者・世論調査データが完全に欠落
13	選択的憤慨	1	ナレーション形式のため評価対象外
14	偽りの均衡	3	参加者数59倍の差を「それぞれ」という対等表現で並置
15	アジェンダ設定	5	改憲議論が現実的に進行中という前提が設定され発議要件の現状が欠落

結果

- 総合スコア（15基準の平均）：3.1 / 10
- 完全性スコア：4.0 / 10
- 複合スコア：3.4 / 10（基準70%+完全性30%： $3.1 \times 0.7 + 4.0 \times 0.3 = 2.17 + 1.20 = 3.37$ 、四捨五入3.4）

支配的な手法

本番組における最も強力な3つの手法：

- 省略（スコア6）：発議要件の現状（3分の2議席の未達成）・世論調査データ・独立した憲法学者の見解という核心的文脈が完全に欠落しており、視聴者が改憲論議の現実的困難さを判断する情報基盤が提供されていない。特に2024年衆院選後の政治的文脈の省略は、改憲が現実的に進行中であるという誤った印象を与える可能性がある。
- 専門家選定（スコア5）：独立した憲法学者が一切登場せず、改憲集会・護憲集会の登壇者のみが「専門家」として紹介されている。桃地名誉教授は「日本大学名誉教授」という肩書きで中立的専門家として受け取られる可能性があるが、改憲集会の登壇者であり構造的利益相反がある。
- アジェンダ設定（スコア5）：改憲議論が現実的に進行中であるという前提がアジェンダとして設定されており、憲法記念日の報道が政治的対立の確認に終始している。憲法の内容・意義・歴史についての教育的説明が完全に欠落しており、放送法第4条の「多角的な論点の提示」の観点から問題がある。

番組の核心的メッセージ

メッセージ1（内容的）：「憲法改正は現在進行中の政治的議題であり、与野党が積極的に議論している」

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

手法：アジェンダ設定・省略 — 根拠：00:00:14～00:01:12、00:02:00～00:02:16

メッセージ2（個人的）：「高市首相は憲法改正に強い意欲を持つリーダーである」

手法：フレーミング・タイミング — 根拠：00:00:14～00:01:12（冒頭配置）

メッセージ3（社会的）：「護憲派の市民運動は改憲推進派より大規模な社会的支持を持つ」

手法：数字の提示（5万人対850人）・タイミング — 根拠：00:04:02～00:05:00

操作度の分類

- 均衡ある報道（0～2）
- 軽度の傾向（3～4）
- 明確な一方性（5～6）
- 体系的な偏り（7～8）
- 極端な偏り（9～10）

理由：本番組は深夜ニュースという形式上の制約（約9分・複数ニュース）の中で、改憲・護憲双方の発言を概ね均等に紹介しており、放送法第4条の政治的公平の基本的要件は形式的には満たしている。しかし発議要件の現状・世論データ・独立した専門家見解という核心的文脈の省略、および「守る」対「改正」という非対称な語彙の使用は、放送法第4条第2号（政治的公平）および第4号（多角的な論点の提示）の観点から軽度の問題を示している。参加者数（5万人対850人）の主権者発表のみの引用も、独立した検証なしに特定の印象を与える可能性がある。

結論

本番組は2025年5月3日（憲法記念日）の改憲・護憲集会を報告する深夜ニュースとして、形式的には改憲推進側と護憲側の双方の発言を紹介しており、放送法第4条の政治的公平の基本的要件を概ね満たしている。しかし、発議に必要な3分の2議席の現状という重要な政治的文脈の省略、独立した憲法学者の不在、世論調査データの欠落は、放送法第4条第4号（多角的な論点の提示）の観点から問題がある。「憲法を守る立場」という語彙の使用は放送法第4条第2号（政治的公平）の観点から軽度の問題を示しており、中立的表現への改善が望ましい。護憲集会の参加者数（5万人）と改憲集会の参加者数（850人）の主権者発表のみの引用は、独立した検証なしに特定の社会的印象を与える可能性があり、放送法第4条第1号（報道の正確性）の観点から改善の余地がある。総合的に見て、本番組は「軽度の傾向」の範囲内にとどまり、放送法第4条の重大な違反とは断定できないが、深夜ニュースという制約を超えた文脈情報の提供が公共放送としての責務の観点から求められる。

ステップ3 — 政党政治的バイアス

政党別スコア

政党	スコア（-5～+5）	番組での描写対党の綱領的立場
LDP（自民党）	+2	00:00:14～00:01:38 「憲法改正に重ねて強い意欲を示しました」「9条に国防規定をきちんと位置づけるのが真髓」 — 綱領的立場：憲法改正（9条・緊急事態条項）推進 — 概ね正確。ただし改憲発議の現実的困難さ（議席不足）の文脈が欠落しており、LDPの立場が実現可能であるかのような印象を与える。
CDP（立憲民主党）	+2	00:02:36～00:02:55 「前のめりな改憲議論が進められているが、そもそも緊急事態における国会議員の任期延了は、憲法54条で...必要ない」 — 綱領的立場：9条改正反対、護憲 — 概ね正確。CDPの護憲立場が適切に紹介されている。
Komeito（公明党）	0	番組中に公明党の発言・立場への言及なし — 綱領的立場：慎重な改憲、平和主義 — 未言及。連立与党として改憲議論に重要な役割を持つにもかかわらず完全に欠落。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Ishin (維新の会)	+1	00:01:41~00:01:57 「戦後最も厳しく複雑な戦略環境の中で重要なのが9条の改正だ」 — 綱領的立場：改憲推進、独自アプローチ — 部分的に正確。Ishinの改憲推進立場は紹介されているが、独自の分権化アプローチや具体的な改憲案の詳細は欠落。
JCP (共産党)	+2	00:02:59~00:03:16 「憲法に自衛隊を書き込めば、最後の縛りともいえる海外派兵を阻止する力が打ち破られてしまう」 — 綱領的立場：9条堅持、改憲絶対反対 — 概ね正確。JCPの強硬な護憲立場が適切に紹介されている。
DPP (国民民主党)	+1	00:02:00~00:02:16 「来年の発議を目指すのであれば、対象を現実的に絞り、条文化作業に早急に着手するのが不可欠だ」 — 綱領的立場：中道、現実的改憲推進 — 概ね正確。DPPの現実的・実務的アプローチが適切に紹介されている。

政党バイアスマとめ

- 最も正確な描写：CDP (立憲民主党)、JCP (共産党)、スコア+2
- 最も強い歪曲：Komeito (公明党)、スコア0 (完全な欠落)
- 平均偏差 (0からの) : 1.3
- 結論：本番組は主要政党の立場を概ね正確に紹介しているが、連立与党の一角を担う公明党が完全に欠落している点は重要な省略である。公明党は改憲議論において「ブレーキ役」として重要な役割を持っており、その欠落は改憲推進の勢いを過大評価させる効果を持つ可能性がある。また全体的に各党の発言が短い引用に留まり、綱領的立場の詳細な説明がないため、スコアは中程度にとどまる。

左右全体的傾向

傾向スコア：+0.3

(正の値=左寄り優遇、負の値=右寄り優遇、0.0=均衡)

分類：均衡

理由：本番組は改憲推進側 (LDP・Ishin・DPP) と護憲側 (CDP・JCP・Reiwa・SDP) の発言を概ね均等に紹介しており、明確な左右の偏りは認められない。護憲集会の参加者数 (5万人) が改憲集会 (850人) より大きく報告される点は護憲側 (左寄り) に若干有利だが、冒頭に現職首相 (LDP) の発言を配置する点は改憲側 (右寄り) に若干有利であり、これらが相殺されている。「憲法を守る立場」という語彙の使用は護憲側に若干有利だが、全体的な傾向を決定するほどの強度はない。

ステップ4 — 法的評価 (放送法第4条)

放送法第4条に基づく評価

放送法第4条は、政治的公平、報道の正確性、および多角的な論点の提示を求めている。

違反1：

規範：放送法第4条第4号 (多角的な論点の提示)

事実：発議要件 (3分の2議席) の現状、世論調査データ、独立した憲法学者の見解、緊急事態条項の国際比較という核心的文脈が完全に欠落している。

根拠：タイムスタンプ00:00:14~00:05:39 (憲法関連報道全体) — 引用：「憲法改正に重ねて強い意欲を示しました」 (00:01:12) — 改憲の現実的困難さを示す情報が一切提供されない。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

評価：放送法第4条第4号が求める「多角的な論点の提示」の観点から、視聴者が独自判断を形成するために必要な情報基盤が著しく不足している。深夜ニュースという時間的制約を考慮しても、発議要件という基本的な政治的文脈の省略は問題がある。

違反 2 :

規範：放送法第4条第1号（報道の正確性）

事実：改憲集会（850人）と護憲集会（5万人）の参加者数が主催者発表のみで引用され、独立した検証がない。

根拠：タイムスタンプ00:04:02～00:05:00 — 引用：「主催者の発表でおよそ850人が参加しました」「主催者の発表でおよそ5万人が参加しました」

評価：主催者発表の参加者数は一般的に過大評価される傾向があり、「主催者の発表で」という留保は付されているものの、独立した検証（警察発表等）なしに大きな数字の差を報告することは、放送法第4条第1号の「報道の正確性」の観点から改善の余地がある。

違反 3 :

規範：放送法第4条第2号（政治的公平）

事実：「憲法を守る立場」という語彙が護憲派に対して使用されており、改憲派を「守る」という道徳的規範に反する立場として暗示する可能性がある。

根拠：タイムスタンプ00:02:17～00:02:19 — 引用：「憲法を守る立場の市民団体の呼びかけで開かれた集会」

評価：「守る」という語は道徳的・防衛的含意を持ち、改憲派を規範違反者として暗示する可能性がある。中立的表現（「憲法改正に反対する立場」）への改善が放送法第4条第2号の観点から望ましい。ただし、この語彙の使用が意図的な操作であるかどうかは断定できず、軽度の問題にとどまる。

放送法第4条総合評価

本番組は放送法第4条の基本的要件を形式的には概ね満たしており、改憲推進側と護憲側の双方の発言を紹介している点は評価できる。しかし、発議要件の現状・世論調査データ・独立した憲法学者の見解という核心的文脈の省略は、放送法第4条第4号（多角的な論点の提示）の観点から問題がある。「憲法を守る立場」という語彙の使用は放送法第4条第2号（政治的公平）の観点から軽度の問題を示しており、参加者数の主催者発表のみの引用は放送法第4条第1号（報道の正確性）の観点から改善の余地がある。総合的に見て、本番組は放送法第4条の重大な違反とは断定できないが、公共放送としての情報提供の質の向上が求められる。

情報源の深層チェック（引用されたすべての専門機関・NGO・相談機関に対する義務的チェック）

桃地明（日本大学名誉教授）

- 資金調達：日本大学（私立大学）所属の名誉教授。改憲集会（民間憲法臨調主催）の登壇者として招聘されており、主催団体との関係・報酬の有無は不明。
- 委任：改憲集会の登壇者としての発言であり、中立的学術的見解としての委任はない。NHKは「日本大学名誉教授」という肩書きを付与しているが、これは集会での立場を中立化する効果を持つ可能性がある。
- 利益相反：改憲集会登壇者として改憲推進の立場を持つ可能性が高く、中立的専門家としての位置付けは不適切。
- 信頼性マトリクス（6次元）：
 - D1 利益相反：-1（改憲集会登壇者）
 - D2 個人的リスク：+1（名誉教授として地位確立）
 - D3 専門能力：+1（法学・安全保障分野と推定）
 - D4 意見の一貫性：0（比較データなし）
 - D5 感情化対データ：0（具体的事例を挙げるが法的根拠の詳細なし）
 - D6 情報源レベル：0（二次的）

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

- 合計：+1 → 情報源信号機：黄
- 5. 対立する専門家の見解：護憲派の憲法学者（長谷部恭男・早稲田大学教授、木村草太・東京都立大学教授等）の見解が対置されていない。

吉岡忍（ノンフィクション作家）

1. 資金調達：独立したノンフィクション作家。護憲集会への参加は個人的立場による。
2. 委任：護憲集会登壇者としての発言であり、中立的専門家としての委任はない。「ノンフィクション作家」という肩書きは法学・憲法の専門性を示さない。
3. 利益相反：護憲集会登壇者として護憲立場を持つ。著作・講演活動との関係は不明。
4. 信頼性マトリクス（6次元）：
 - D1 利益相反：-1（護憲集会登壇者）
 - D2 個人的リスク：+1（著名作家として地位確立）
 - D3 専門能力：-1（憲法・法学の専門家ではない）
 - D4 意見の一貫性：0（比較データなし）
 - D5 感情化対データ：-1（抽象的・文学的表現、具体的データなし）
 - D6 情報源レベル：0（二次的）
- 合計：-2 → 情報源信号機：黄
5. 対立する専門家の見解：改憲派の法学者・安全保障研究者の見解が対置されていない。

民間憲法臨調（改憲集会主催団体）

1. 資金調達：民間憲法臨調は改憲推進を目的とする民間団体。資金源の詳細は公開情報から確認困難。
2. 委任：改憲推進を目的とする団体であり、中立的な参加者数の報告を行う委任はない。
3. 利益相反：改憲推進団体として、参加者数を多く報告することで運動の勢いを示す利益がある。
4. 信頼性マトリクス（6次元）：
 - D1 利益相反：-2（改憲推進団体の自己報告）
 - D2 個人的リスク：-1（組織として参加者数の過大報告によるリスクは低い）
 - D3 専門能力：-1（参加者数の客観的計測は専門外）
 - D4 意見の一貫性：0（比較データなし）
 - D5 感情化対データ：-1（主催者発表のみ、独立した検証なし）
 - D6 情報源レベル：-2（三次的：主催者の自己報告）
- 合計：-7 → 情報源信号機：赤
5. 対立する専門家の見解：警察発表の参加者数または独立した調査機関による推計が欠落。

重要：「名誉教授」「ノンフィクション作家」という社会的肩書きは、それ自体では中立的専門家としての資格を示さない。これらは社会的帰属の表示であり、発言内容の客観性・中立性とは独立して評価されなければならない。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



59. 数字の操作

4/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：統計の選択的または誤解を招く使用。

所見 1：

タイムスタンプ：00:04:02～00:04:06 / 00:04:57～00:05:00

引用：「主催者の発表でおよそ850人が参加しました」（改憲集会）／「主催者の発表でおよそ5万人が参加しました」（護憲集会）

欠落している文脈：両数値とも「主催者の発表」であり、独立した検証がない。主催者発表の参加者数は一般的に過大評価される傾向があり、特に護憲集会の5万人という数字は改憲集会の850人の約59倍であるが、この差の意味（会場規模の違い・動員方法の違い等）についての説明がない。

影響：参加者数の大きな差が、護憲派の社会的支持が圧倒的に大きいという印象を与える可能性があるが、これは参加者数のみから導ける結論ではない。

所見 2：

タイムスタンプ：00:00:34～00:00:43

引用：「憲法が施行された79年前と比べ、我が国を取り巻く国際情勢、安全保障環境などは全く異なるものとなっている」（高市首相）

欠落している文脈：「79年」という数字が改憲の必要性の根拠として使用されているが、NHKはこの主張を検証しない。憲法の年齢と改正の必要性の間に論理的関係があるかどうかの検証が欠落。

影響：「79年間変わっていない＝時代遅れ」という論理が無批判に放送される。

まとめ：参加者数の主催者発表のみの引用と、その差の文脈説明の欠落が主な問題。数字の積極的な操作というよりは、文脈の省略による誤解の可能性がある。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



15基準の総合評価

個別スコア — 全15基準

番号	基準	Score	評価
1	専門家選定	5/10	顕著な偏り
2	情報源選定	5/10	顕著な偏り
3	時間配分	4/10	軽微な偏り
4	省略（選択的省略）	6/10	顕著な偏り
6	連座制（接触による汚染）	0/10	問題なし
7	タイミング	3/10	軽微な偏り
8	選択的憤慨	1/10	問題なし
9	網羅性	6/10	顕著な偏り
10	フレーミング（枠組み設定）	3/10	軽微な偏り
11	語彙と用語	3/10	軽微な偏り
12	司会者の行動	1/10	問題なし
13	質問の非対称性	1/10	問題なし
14	偽りの均衡	3/10	軽微な偏り
15	アジェンダ設定	5/10	顕著な偏り
59	数字の操作	4/10	軽微な偏り

ハードファクトスコア (1-8)

3.8/10

軽微な不均衡

ソフトファクトスコア (9-14)

2.7/10

軽微な不均衡

総合スコア

3.3/10

軽微な不均衡

ハードファクトとソフトファクトの平均

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



凡例 — スコアの定義

基準ごとの個別スコア (0-10)

0	所見なし	関連する異常は検出されませんでした。
1-2	軽微な所見	バランスに実質的な影響のない軽微な異常。
3-4	軽度～中程度の所見	認識可能な傾向；影響の関連性は低～中程度。
5	影響のある中程度の所見	視聴者の意見形成に影響を与える関連性のある偏り。
6	重要な所見 (閾値)	スコア6以上は「重要な所見」に分類されます。
7	重要な所見	明確で十分に文書化された偏り、明らかな影響の関連性。
8-9	深刻な所見	顕著な偏り；この基準で複数の文書化された個別の所見。
10	最大の深刻度	この基準における体系的で広範な偏り。

集約偏差指数 — 解釈範囲

0.0 - 2.5	問題なし	重要なパターンは検出されず；放送は公平性基準を満たしています。
2.6 - 4.0	軽微な偏り	孤立した異常；統計的に認識可能だが許容範囲内。
4.1 - 6.0	重要な偏り	複数の重要な所見；視点の多様性に対する関連性のある損傷。
6.1 - 8.0	公平性基準からの深刻な逸脱。高い逸脱度	放送をまたぐ顕著なパターン；高い影響の関連性。
8.1 - 10	根本的な体系的・一方向性。非常に高いバイアス度	ほぼ全ての基準で最大の深刻度；体系的に一方的な報道。

政党バイアス (-5~+5)

-5~-3	強く不利	政党はフレーミング、放送時間、またはプレゼンテーションで著しく過小代表されている。
-2~-1	やや不利	認識可能だが軽微な不利。
0	中立	検出可能な優遇や不利益なし。
+1~+2	やや有利	認識可能だが軽微な優遇。
+3~+5	強く有利	政党はフレーミング、放送時間、またはプレゼンテーションで著しく過大代表されている。

法的・方法論的注記

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch
 주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

事実認定ではない

提示された結果は、個人、編集チーム、または放送に関する事実認定を構成するものではありません。標準化された運用化の産物であり、個人の責任の認定ではありません。

法的判断ではない

集計された逸脱指数は放送法 第4条に基づく法的評価に代わるものではありません。特定の放送が法的要件に違反しているかどうかの判断は、管轄当局（特に総務省）の専権事項です。

因果関係の証明ではない

統計的相関は、因果関係や編集意図の証明として解釈されるべきではありません。逸脱値は、テーマ選択、ニュース環境、政治的論争性、またはフォーマットの論理によって影響を受ける可能性があります。

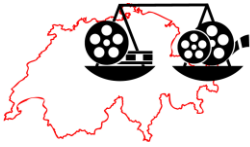
意図の判断ではない

分析は放送の観察可能な構造的特性を測定します。スコア7は、重大な偏りが検出されたことを意味し、編集チームがそれを意図したことを意味しません。方法論は動機や戦略的目標について主張しません。

ヒューリスティックな比較ツール

この指数は、数千の放送にわたる比較パターン認識に役立ち、個々のセグメントの正確なメトリック測定ではありません。閾値はヒューリスティックな方向付けに役立ち、厳密な法的資格付けではありません。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



付録1：国内放送法

法的根拠 日本 — NHK

法律

- 放送法（昭和25年法律第132号、最終改正 2024年）
- NHK受信規約
- 電波法

放送法 第4条（編集基準）

放送事業者は、国内放送及び内外放送（以下「国内放送等」という。）の放送番組の編集に当たっては、次の各号の定めるところによらなければならない。

- 一 公安及び善良な風俗を害しないこと。
- 二 政治的に公平であること。
- 三 報道は事実をまげないですること。
- 四 意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること。

出典：e-Gov法令検索（laws.e-gov.go.jp/law/325AC0000000132）

バイアス分析の四つの柱

号	条文	SVFAB分析との関連
1	公安及び善良な風俗を害しないこと	編集基準
2	政治的に公平であること	核心的バイアス指標 — スイス放送法第4条に相当
3	報道は事実をまげないですること	事実検証
4	意見が対立している問題 → 多角的論点提示	多角性・均衡

スイスとの比較

項目	スイス（SRG）	日本（NHK）
法律	放送通信法 第4条	放送法 第4条
独立規制機関	UBI（拘束力あり）	BPO（拘束力なし）
国家規制機関	BAKOM/UVEK	総務省
執行	UBIは苦情を認容可能、BAKOMは制裁可能	BPOは勧告のみ、総務省は行政指導
財源	Serafe受信料	NHK受信料（月額約1,100円）
自主規制	中程度（UBIは独立）	脆弱（BPOはNHKが共同出資）

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



監督機関

総務省

- 放送行政を所管する国家機関
- 放送免許の付与
- 行政指導の発出権限
- NHK予算・事業計画・受信料の承認
- 理論上は免許取消権限を保有
- 直近の措置：2024年9月、NHKラジオ国際放送尖閣事件に対する行政指導

BPO（放送倫理・番組向上機構）

- 2003年設立、非政府、自主規制機関
- NHKとJBA（日本民間放送連盟）が共同運営
- 三委員会：放送倫理検証、放送人権、青少年
- 決定に法的拘束力なし — 自主的遵守に依拠
- NHKがBPOを共同出資 — 構造的独立性に限界

NHKに対する主なBPO決定

年	事案	判断
2015	クローズアップ現代 — やらせ疑惑	重大な放送倫理違反
2022	BS五輪ドキュメンタリー（河瀬直美）	重大な放送倫理違反 — 虚偽字幕
2023	ニュースウオッチ9 — COVID-19報道	放送倫理違反 — ワクチン被害者遺族の誤報

国際比較参照

- RSF 報道自由度指数：日本 2024年 70位（スイス9位、ノルウェー1位と大きな差）
- Freedom House：日本は「自由」に分類、しかしメディアの自由は圧力下（記者クラブ、政府近接性）

構造的背景

NHKは世界最大の公共放送機関（予算約7,200億円 / 約45億ユーロ）。経営委員会（12名、首相が任命、国会同意）を通じた構造的な政府近接性がある。記者クラブ制度が政府情報へのアクセスをメディア各社に限定し、ジャーナリストと政府の距離を縮めている。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



付録2 : 科学的参考文献

参考文献

- Bennett, W. L. (1990). Toward a theory of press-state relations in the United States. *Journal of Communication*, 40(2), 103–125.
- Berelson, B. (1952). *Content analysis in communication research*. Free Press.
- Entman, R. M. (1993). Framing: Toward clarification of a fractured paradigm. *Journal of Communication*, 43(4), 51–58.
- fög – Forschungszentrum Öffentlichkeit und Gesellschaft (2024). *Jahrbuch Qualität der Medien 2024*. Schwabe.
- Gilardi, F., Alizadeh, M. & Kubli, M. (2023). ChatGPT outperforms crowd workers for text-annotation tasks. *PNAS*, 120(30).
- Iyengar, S. & Kinder, D. R. (1987). *News that matters: Television and American opinion*. University of Chicago Press.
- Jolly, S. et al. (2022). Chapel Hill Expert Survey trend file, 1999–2019. *Electoral Studies*, 75, 102420.
- Krippendorff, K. (2004). *Content analysis: An introduction to its methodology* (2nd ed.). Sage.
- McCombs, M. E. & Shaw, D. L. (1972). The agenda-setting function of mass media. *Public Opinion Quarterly*, 36(2), 176–187.
- Shoemaker, P. J. & Vos, T. P. (2009). *Gatekeeping theory*. Routledge.
- SVFAB (2026). *Methodenbericht v4.1: Zählbare Kriterien und Multi-Modell-Kreuzvalidierung*.
- Törnberg, P. (2023). ChatGPT-4 outperforms experts and crowd workers in annotating political Twitter messages. arXiv:2304.06588.

SVFAB Working Papers

- Schläpfer, D. (2026). Systematic AI-Assisted Analysis of Public Broadcaster Impartiality: A Scalable Methodological Framework for Measuring Structural Bias in Public Service Media. [SSRN 6688478](#)
- Schläpfer, D. (2026). Measuring Editorial Noise: A Retrospective Suppression Index for Public Broadcasting Content Analysis. [SSRN 6733280](#)
- Schläpfer, D. (2026). Source Traffic Light: A Six-Dimensional Credibility Framework for Systematic Source Assessment in Public Service Media. [SSRN 6733880](#)

David Schläpfer — ORCID: 0009-0000-5671-9266

SVFAB — スイス公平報道協会 | 私書箱、8021 チューリッヒ 1 | www.svfab.ch | kontakt@svfab.ch | 方法論レポート 2026年3月 | コンバーター 3.4 (2026-05-20)

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

SVFAB 보고서 및 회원 가입

SVFAB.ch에서는 상세한 보고서를 받아보실 수 있을 뿐 아니라, 모든 선적 건에 대한 보고서 생성 서비스도 이용하실 수 있습니다(유료 서비스).

저희는 지속 가능한 활동을 위해 회원 가입과 기부에 의존하고 있습니다.

연락처 및 추가 정보:

www.SVFAB.ch | Kontakt@SVFAB.ch

은행 계좌: PostFinance – POFICHBE

IBAN: CH32 0900 0000 1675 6251 1

수취인: SVFAB, P.O.Box CH-8021 Zurich 1

회장: 다비드 Schlaepfer / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

SVFAB에서 다음 책들을 구입하실 수 있습니다.

주문은 www.svfab.ch 또는 kontakt@svfab.ch를 통해 하실 수 있습니다.



스위스의 '보도 자료 절반 공개' 정책에 대한 대응으로 불균형적인 보도가 나타나고 있습니다. 이 책은 취재진과 정보원 선정부터 시작하여 조작 기법을 상세히 설명합니다. 이어 누락, 프레임 설정, 시간적 프레임 설정, 연좌제, 감정적 이용, 맥락 제거 등 15가지 원칙을 다양한 사례와 함께 제시합니다. 또한, 우리 자신이 이러한 기법을 어떻게 활용하는지 보여줌으로써 이해뿐 아니라 공감까지 이끌어냅니다.

선택 사양으로 트럼프 카드가 함께 제공됩니다.

오디오북으로도 이용 가능합니다.



인터뷰는 대화가 아닙니다. 누군가 대본을 써놓은 무대입니다.

이 점을 이해하지 못하는 사람은 언론에 먹칠을 하는 셈입니다. 좋은 인용구가 잘못 편집되고, 정확한 발언이 잘못된 맥락에서 전달되며, 솔직한 답변이 자백처럼 포장되는 사례가 발생합니다.

이 책은 언론 비평서가 아닙니다. 마이크 앞에 선 모든 사람을 위한 실용적인 도구 상자입니다. 7개의 장으로 구성되어 있으며, 7가지 도구를 제공합니다. 인터뷰의 본질, 가장 흔한 7가지 함정, 세 가지 기본 원칙(앵커링, 프레임링, 경계 설정), 1시간 만에 인터뷰 준비하는 방법, 몸짓과 목소리 사용법, 인터뷰가 잘못될 경우 대처법, 그리고 인터뷰 후 중요한 점까지 다룹니다.

정치인, 활동가, 기업가, 내부고발자 등 대중의 시선을 받는 모든 사람이 언론의 흐름을 이해하고, 더 이상 수동적으로 따라가지 않고 주도적으로 이끌어갈 수 있도록 돕습니다.

A5 사이즈로 휴대가 간편합니다. 준비, 참고, 후속 조치 및 어려움에 직면했을 때를 위해.

회장: 다비드 Schlaepfer / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato



당신은 세상을 제대로 본다고 생각하지만, 사실은 누군가가 씌운 틀을 보고 있는 것입니다. 프레임은 세상에서 가장 오래되고 정교한 조작 기술입니다. 사실 자체를 바꾸는 것이 아니라, 우리가 사실을 어떻게 받아들이고, 어떻게 느끼고, 무엇을 믿고, 어떻게 결정하는지를 바꿉니다. 그리고 이 기술은 효과적입니다. 왜냐하면 우리 모두가 매일 무의식적으로, 당신도 참여하고 있기 때문입니다. 이 책은 딱딱한 교과서가 아닙니다. 재미있고, 직접적이며, 실생활 예시로 가득한 워크북입니다. 다른 사람들이 당신을 어떻게 프레임에 담는지 배우는 것뿐만 아니라, 스스로를 어떻게 프레임에 담는지, 그리고 그것을 의식적이고 공정하게 사용하는 방법을 배우게 될 것입니다.

프레임을 이해하는 사람들은 세상을 더 명확하게 보고, 뉴스를 다른 시각으로 바라보며, 더 자신감 있게 대화를 이끌어 나가고, 다른 사람이 선택한 프레임에 쉽게 휘둘리지 않게 됩니다.

정치, 미디어, 그리고 일상생활에서 가져온 다양한 연습 문제와 구체적인 예시, 그리고 중간중간 웃음까지 더해져 있습니다.

스타일 있게 프레임을 활용하세요. 프레임이 모든 것을 바꾸기 때문입니다.

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1